

Agora 岐阜(アゴラ岐阜)は、さまざまな分野の専門家で構成された集団です。

特集 地番と住居表示

地名が語るもの

大垣・洗堰訴訟(大垣市荒崎地区で起きた水害訴訟)の岐阜地裁判決が下りました。当地区は大谷川、相川が合流する輪中の遊水地の役目持った地域でもあります。荒崎地区の最南端で、洗堰に最も近いのに浸水を免れた地区がありました。十六輪中と相川の向こう側の十六大野輪中という二つの輪中です。水害が多い地域に、荒〇、江〇、〇江、〇嶋、〇〇須、〇〇新田等の地名があるのは、わけがありそうです。

敷地の接道義務

建物を建てる時には、敷地が(建築基準法上の)道路に2m以上接していないと建築する事ができません。これを敷地の接道義務といいます。

建築基準法上での道路の定義では、公道・私道を問わず幅員(道路幅)4m以上のものを指します。同法42条にはいくつかの道路の規定があります。

①道路法による道路

幅員4m以上で道路法による路線の指定又は認定を受けたもの(公道)

②以下の各法律の事業により築造した道路

- ・都市計画法
- ・土地区画整理法
- ・都市再開発法

③既存道路

都市計画区域及び準都市計画区域の指定を受けた際、現に存在した幅員4m以上の道

④計画道路

都市計画等で2年以内に事業が行われる予定のもので、特定行政庁が指定した道路

⑤位置指定道路

土地を建築物の敷地に利用するため特定行政庁から位置の指定を受けたもの

⑥1. 8m以上4m未満の指定道路

昭和25年11月25日以前から建物が立ち並んでいて、特定行政庁が指定したもの(2項道路)

⑦法定外道路

所有権は国、もしくは市町村にあり、管理は市町村が行っている。
(里道[りどう]、赤道[あかどう])

道路管理者による道路の区分には以下があります。

国	: 高速自動車国道
	: 一般国道
都道府県	: 都道府県道
市町村	: 市町村道
私人	: 私道

以上のように道路には様々な種類があります。また道路は、人の通行のほか、建築物の安全・防災・衛生などに欠くことのできない空間です。

そのため道路内の建築制限があります。

※毎日使用している道路をいつもと違う視点から眺めてみても良いかも知れません。